



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月15日

上場会社名 株式会社サンセイランディック 上場取引所 東
 コード番号 3277 URL <http://www.sansei-l.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松崎 隆司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 永田 武司 (TEL) 03-3295-2200
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績 (平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	1,133	△44.7	△152	—	△171	—	△106	—
26年12月期第1四半期	2,049	36.4	411	—	363	—	219	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 △106百万円(—%) 26年12月期第1四半期 219百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△13.34	—
26年12月期第1四半期	31.76	31.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	10,157	5,170	50.9
26年12月期	8,792	5,261	59.8

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 5,170百万円 26年12月期 5,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	3.00	—	7.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,615	△8.7	66	△87.9	17	△96.2	7	△97.4	0.93
通期	11,162	6.9	1,242	3.2	1,139	9.1	705	12.6	89.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年12月期 1 Q	7,993,000株	26年12月期	7,915,000株
② 期末自己株式数	27年12月期 1 Q	148株	26年12月期	148株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年12月期 1 Q	7,958,440株	26年12月期 1 Q	6,899,852株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 2 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8
(1) 受注、仕入及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用情勢や企業収益に改善が見られるなど、景気は、総じて緩やかな回復基調が続いております。海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクはあるものの、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあって、今後も緩やかに回復していくことが予想されます。

当社グループが属する不動産業界におきましては、住宅建設が持家、貸家、分譲住宅の着工とも、底堅い動きとなっており、今後も不動産市況は、堅調に推移することが見込まれます。

このような状況の中で、本社の仕入戦略チームの設置や支店における営業力の更なる強化により、利益の源泉となる物件の仕入拡大及び今後の新たな収益獲得への取り組みを進めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,133百万円（前年同期比44.7%減）となり、営業損失152百万円（前年同期は411百万円の営業利益）、経常損失171百万円（前年同期は363百万円の経常利益）、四半期純損失106百万円（前年同期は219百万円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

① 不動産販売事業

不動産販売事業におきましては、底地59件、居抜き物件3件、所有権物件2件の販売をいたしました。その結果、売上高は925百万円（前年同期比47.5%減）となり、セグメント利益は71百万円（前年同期比87.3%減）となりました。

② 建築事業

建築事業におきましては、戸建・リフォーム工事等40件の販売をいたしました。その結果、売上高は213百万円（前年同期比26.8%減）となりセグメント損失は46百万円（前年同期は21百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比べ1,344百万円増加し、9,179百万円となりました。これは、主に現金及び預金の減少509百万円、販売用不動産の増加1,763百万円によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比べ21百万円増加し、978百万円となりました。これは、主に有形固定資産の増加15百万円によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比べ1,489百万円増加し、4,654百万円となりました。これは、主に買掛金の減少178百万円、短期借入金の増加1,945百万円、その他流動負債の減少321百万円によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末と比べ33百万円減少し、333百万円となりました。これは、主に長期借入金の減少48百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ90百万円減少し、5,170百万円となりました。これは、主に利益剰余金の減少129百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月13日に発表した業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

・繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを利用する方法によっております。

・棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算方法

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,275,677	1,765,893
売掛金	91,221	94,427
販売用不動産	5,166,694	6,930,363
未成工事支出金	3,901	10,438
貯蔵品	9,431	4,148
その他	293,950	380,268
貸倒引当金	△5,258	△5,871
流動資産合計	7,835,617	9,179,668
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産	511,242	511,242
減価償却累計額	△64,526	△66,567
賃貸不動産(純額)	446,716	444,675
その他	156,727	174,064
有形固定資産合計	603,443	618,739
無形固定資産	96,086	89,170
投資その他の資産		
その他	298,784	310,596
貸倒引当金	△41,122	△40,222
投資その他の資産合計	257,661	270,374
固定資産合計	957,192	978,284
資産合計	8,792,809	10,157,953
負債の部		
流動負債		
買掛金	452,263	273,446
短期借入金	1,957,769	3,902,859
賞与引当金	—	44,800
その他	754,611	433,219
流動負債合計	3,164,644	4,654,324
固定負債		
社債	104,500	104,500
長期借入金	211,800	163,685
資産除去債務	4,356	8,881
その他	45,989	55,968
固定負債合計	366,645	333,035
負債合計	3,531,289	4,987,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	661,450	680,950
資本剰余金	622,450	641,950
利益剰余金	3,977,672	3,847,747
自己株式	△53	△53
株主資本合計	5,261,519	5,170,594
純資産合計	5,261,519	5,170,594
負債純資産合計	8,792,809	10,157,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	2,049,044	1,133,259
売上原価	1,153,382	748,078
売上総利益	895,662	385,181
販売費及び一般管理費	484,064	537,288
営業利益又は営業損失(△)	411,598	△152,107
営業外収益		
受取利息	530	600
業務受託料	173	699
その他	945	2,134
営業外収益合計	1,649	3,434
営業外費用		
支払利息	28,516	18,047
支払手数料	2,443	1,497
その他	18,379	2,932
営業外費用合計	49,339	22,476
経常利益又は経常損失(△)	363,908	△171,149
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	363,908	△171,149
法人税等	144,802	△64,968
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	219,105	△106,180
四半期純利益又は四半期純損失(△)	219,105	△106,180

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	219,105	△106,180
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	219,105	△106,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	219,105	△106,180
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産販売 事業	建築事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,762,803	286,241	2,049,044	—	2,049,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,695	5,695	△5,695	—
計	1,762,803	291,936	2,054,739	△5,695	2,049,044
セグメント損益(△は損失)	561,157	△21,486	539,670	△128,072	411,598

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント損益の調整額△128,072千円は主に各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産販売 事業	建築事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	925,207	208,052	1,133,259	—	1,133,259
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,749	5,749	△5,749	—
計	925,207	213,801	1,139,009	△5,749	1,133,259
セグメント損益(△は損失)	71,370	△46,734	24,635	△176,743	△152,107

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント損益の調整額△176,743千円は主に各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注、仕入及び販売の状況

① 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建築事業	254,878	125.1	272,936	85.7

- (注) 1. 建築事業以外は受注を行っておりません。
 2. セグメント間取引については相殺消去しております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 4. 上記の金額は、販売価額により表示しております。

② 仕入実績

当第1四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント	区画数	前年同期比(%)	仕入高(千円)	前年同期比(%)
不動産販売事業	98	86.0	2,338,556	181.4
うち底地	84	80.8	1,023,699	122.3
うち居抜き物件	13	162.5	1,289,880	319.0
うち所有権	1	50.0	24,976	52.1

- (注) 1. 不動産販売事業以外は仕入を行っておりません。
 2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。
 3. 「区画数」については、底地の場合は借地権者の人数など、物件の仕入時に想定される販売区画の数量を記載しております。
 4. 底地・居抜き物件・所有権が混在する物件については、底地を含む物件は「うち底地」に、居抜き物件と所有権のみが混在する物件は「うち居抜き物件」に含めて記載しております。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント	件数	前年同期比(%)	販売高(千円)	前年同期比(%)
不動産販売事業	64	88.9	925,207	52.5
うち底地	59	100.0	542,150	99.0
うち居抜き物件	3	60.0	249,992	30.6
うち所有権	2	25.0	51,071	16.1
その他の不動産販売事業	—	—	81,992	98.5
建築事業	40	70.2	208,052	72.7
合計	—	—	1,133,259	55.3

- (注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間取引については相殺消去しております。
 3. 「件数」については、不動産販売事業においては売買契約、建築事業においては受注契約の件数を記載しております。
 4. 底地・居抜き物件・所有権の区分については、仕入時の区分により記載しております。仕入後に権利調整により底地から所有権に変わった区画等に関しては、仕入時の区分に基づき底地に含めて記載しております。また、底地・居抜き物件・所有権が混在する物件については、底地を含む物件は「うち底地」に、居抜きと所有権のみが混在する物件は「うち居抜き物件」に含めて記載しております。
 5. 「その他の不動産販売事業」は、地代家賃収入、仲介手数料による収入、業務受託手数料収入等であります。
 6. 建築事業の件数・販売高につきましては、リフォーム工事・改築工事等の件数・金額を含んでおります。